

「授業づくり研究会」開催のご案内

研究会代表 安永 悟
(久留米大学文学部)

稔りの秋を満喫できる季節になりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、12月に開催予定の「授業づくり研究会」の準備ができましたので、ご案内いたします。多くの皆さまの参加をお待ちしています。参加を希望される方は、協同教育研究所のホームページから申込をお願いします。

むろん、これまで同様、当日参加も受け付けます。案内が直接届いていない方も大歓迎です。皆様とお目にかかれることを楽しみにしています。

研究会の後、情報交換会（懇親会）を予定しています。こちらは準備の都合がありますので、参加を希望される方は下記の期日までに連絡をお願いします。

記

1. 日時：2017年12月9日（土） 13時～17時まで
2. 場所：久留米大学御井キャンパス 学生会館ミーティング＝ルーム3
<http://www.kurume-u.ac.jp/soshiki/3/access.html>
3. 参加資格：協同教育（学習）および「協同」一般に関心のある方
4. 参加申込：協同教育研究所「結風」のHP (<http://yuikaji.me/wiki.cgi>) からお願いします。

(注意) HPからの申込に対しては自動返信になっています。

返信が届かなかった場合は下記「問い合わせ先」までご連絡ください。

5. 研究会の内容

- (1) 挨拶・導入 40分 (13:00-13:40)
 - a. 担当 : 安永悟 (久留米大学)
 - b. 内容 : 協同の技法をもちいた自己紹介を行い、協同学習の基本技法である傾聴と復唱（ミラーリング）、ラウンドロビンやシンク＝ペア＝シェアなどを体験します。加えて、協同学習に関する最近の動向を紹介します。
(休憩 10分)
- (2) 実践・研究報告1 70分 (13:50-15:00)
 - a. 題目 : 「LTD基盤型反転授業の試み」
 - b. 講師 : 安永悟 (久留米大学)

- c. 内容 : 講師は、LTD話し合い学習法を基盤とした授業づくりを続けているなかで、最近、LTD基盤型授業モデルを提唱しています。今回は、LTD基盤型授業モデルの視点から開発を試みている反転授業について実践方法を中心に報告します。具体的には、反転授業について簡単に紹介し、LTDを基盤とした反転授業を取り入れている専門科目「教育心理学Ⅱ」の実践例を紹介します。

(休憩 15分)

(3) 実践・研究報告2

90分 (15:15-16:45)

- a. 題目 : 「学生の主体的・協調的な学びをもたらす反転授業
～山梨大学の事例～」
- b. 講師 : 埴 雅典 (山梨大学 教育国際化推進機構大学教育センター・
大学院総合研究部工学域センター長・教授)
- c. 内容 : 大学における知識伝達は教員が一方的に話し、学生は聞くだけの一斉講義が中心でした。山梨大学では2012年度より、学生の主体的・協調的な学びを促す授業方法の研究に着手し、議論を重ねた結果たどり着いたのが、今日「反転授業」と呼ばれる方法でした。本講演では、アクティブラーニングと反転授業の関係、反転授業の実施方法、山梨大学の反転授業の実践例とその効果分析結果、5年の実践から見てきたこと、などについてご紹介します。

事前に以下のYoutubeビデオをご覧頂くと、取組の実態がお分かりいただけるものと思います。



<http://youtu.be/HrnHTrPPNRA>

<https://www.youtube.com/watch?v=HrnHTrPPNRA&feature=youtu.be>

(4) 事務連絡・閉会

15分 (16:45-17:00)

6. 懇親会のお知らせ

研究会終了後、下記の要領で懇親会を開催します。詳細は決まり次第お知らせします。参加希望者は上記「4. 参加申込」と合わせて12月4日(月)までに、協同教育研究所のHPから申し込んでください。

場所 : 西鉄久留米駅界限

時間 : 18時00分～20時00分

会費 : 4,000円程度

(注意) 直前の取り消しには応じかねます。参加されなくても参加費を徴収することがありますので、予めご了承ください。

7. 問い合わせ先

ご不明な点があれば、次までお願いします。

安永悟 yasunaga_satoru@kurume-u.ac.jp

以上